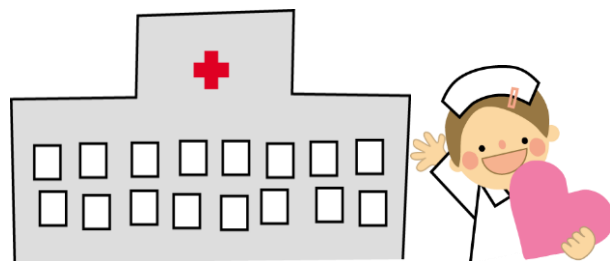


外来化学療法を受けられる患者様へ



東京共済病院 化学療法室



はじめに



当院の外来化学療法室では、より快適で安全な環境の中で患者様に点滴治療を受けていただけることを目指しています。

実際に治療を受けていただくベッドには、電動ベッド(頭側と足側が動くタイプ)、普通のベッド(頭側が動くタイプ)、リクライニングチェアの3種類があります。空き状況によりお使いいただけるベッドが変わりますので、お体が辛いなどの理由で種類にご希望がある場合はご相談ください。

点滴中は、本を読んだりイヤホンで音楽やラジオを聴いたりなどリラックスしてお過ごしください。

点滴が昼食時間に重なる場合は、ベッド・リクライニングチェアでお食事して頂いたり、眠ければゆっくり寝て頂いても構いません。

注射薬の調剤は薬剤部の無菌製剤室にて行っていますので、より安全に安心して治療をお受けいただけます。

抗がん剤の副作用をはじめ、脱毛によるウィッグのご利用や社会制度についてなどのお悩みがあれば、いつでもご相談ください



その他お気づきの点は遠慮なく医師、看護師にご相談ください。

副作用について

抗がん剤はがん細胞に対しての攻撃を行いますが、同時に正常な細胞へダメージも与えてしまいます。それにより現れるさまざまな症状を、副作用といいます。副作用は、使用するお薬の内容や量によって違いますし個人差もあります。

中には辛い症状もありますが、あらかじめ副作用を軽くするための点滴を用いたり、現れてしまった症状に対してのお薬を処方したりとできるだけ苦痛を少なくできるように対応しています。

ほんの少しの体調の変化や気になることなど、何でも医師や看護師にお知らせください。

帰宅後に発生した症状についても、お電話でご相談ください。特に点滴刺入部付近の皮膚が赤く腫れてきた場合は早めにご相談ください。



普段の生活の中で患者様ご自身が何に気がつけたらよいかや、症状を和らげるための工夫についてなどを知っていただくために、症状別に記載した用紙をご用意しています。ご自分の症状にあわせてお選びください。

点滴中の注意事項



抗がん剤の点滴では、お薬を血管から漏らさないことが大切です。

また、もし漏れてしまった場合は素早い処置が必要となります。

看護師は定期的に漏れがないか、きちんと点滴できているかなどのチェックを行っています。しかしほんの少しの痛みや違和感などを一番に感じることができるのは患者様です。

☆ 次のようなときは我慢せずに、すぐに看護師にお知らせください

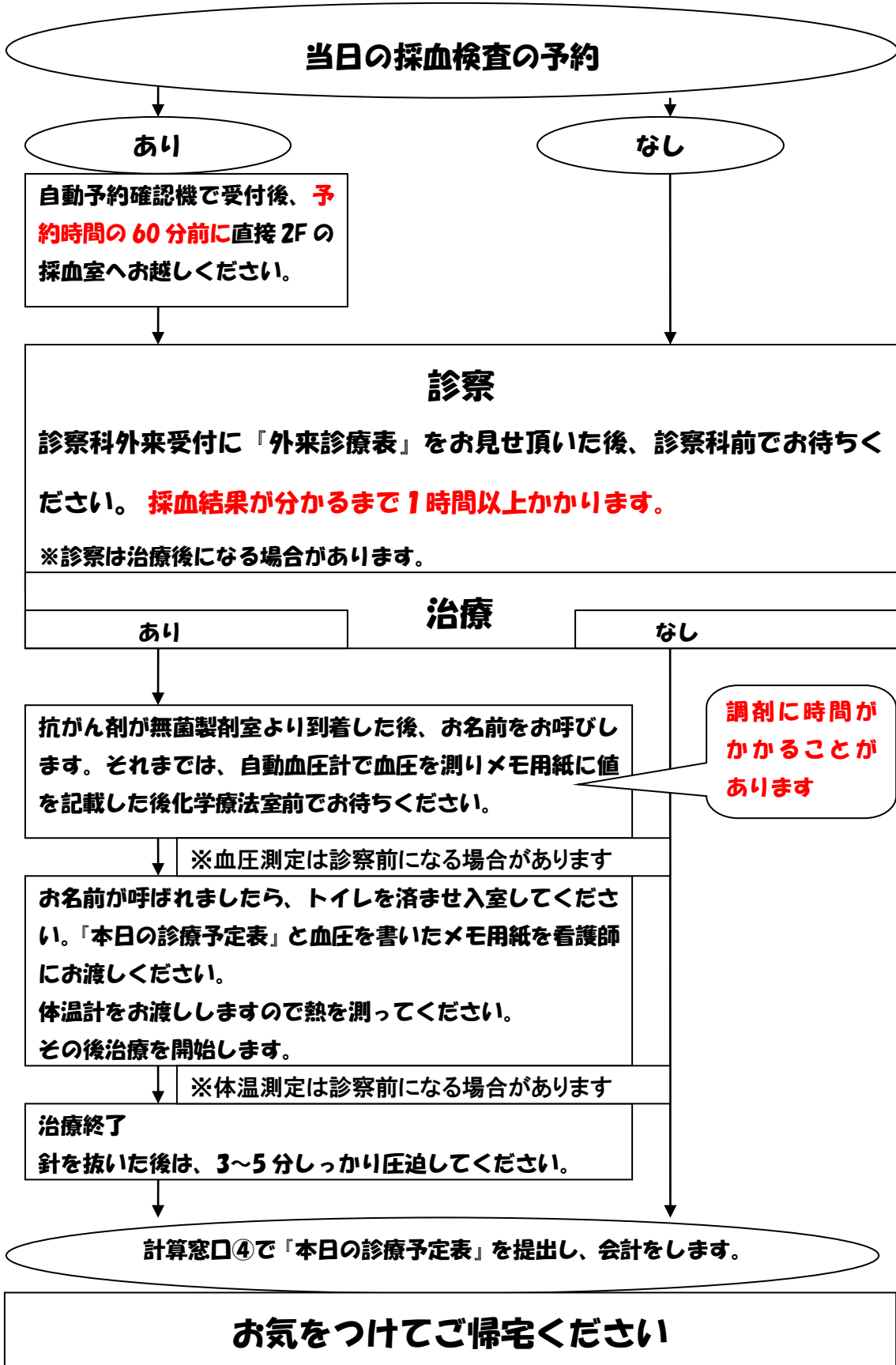
- ・ 針の周りが傷む
- ・ 針の入っている部分が腫れてきた、赤くなってきた
- ・ 点滴の落ち方が悪い



☆ 気をつけて 頂きたいこと

- ・ 点滴の管を強く引っ張ったり引っ掛けたりしないようにしましょう
 - ・ 針の入っている部分を長い時間曲げたり圧迫したりしないようにしましょう
- ◆点滴が空になっても体に空気が入ることはありません。
- ◆点滴スタンドを押してトイレに行くことは可能ですが、開始前に済ませておく方が安心です。

◆点滴中に気分が悪くなったときはすぐに看護師にお知らせください。



現在使用中のお薬

※タキソール、タキソテール点滴治療をお受けになる方は、アルコール含有のお薬ですので、当日は車や自転車の運転はお控えください。
来院時も公共の交通機関のご利用をお願いします。



緊急連絡先

03-3712-3151(代表)

外科外来化学療法室へつながります。

平日 8:30~17:15

第 1.3.5 土曜日 8:30~12:30

上記時間帯以外は救急外来につながります。